



9月に半身で確認した鯪瓦粘土型を基に作成した試作品の検査を行いました。





こちらも9月に確認した瓦当部分を基に瓦を焼き、試作品の検査を行いました。



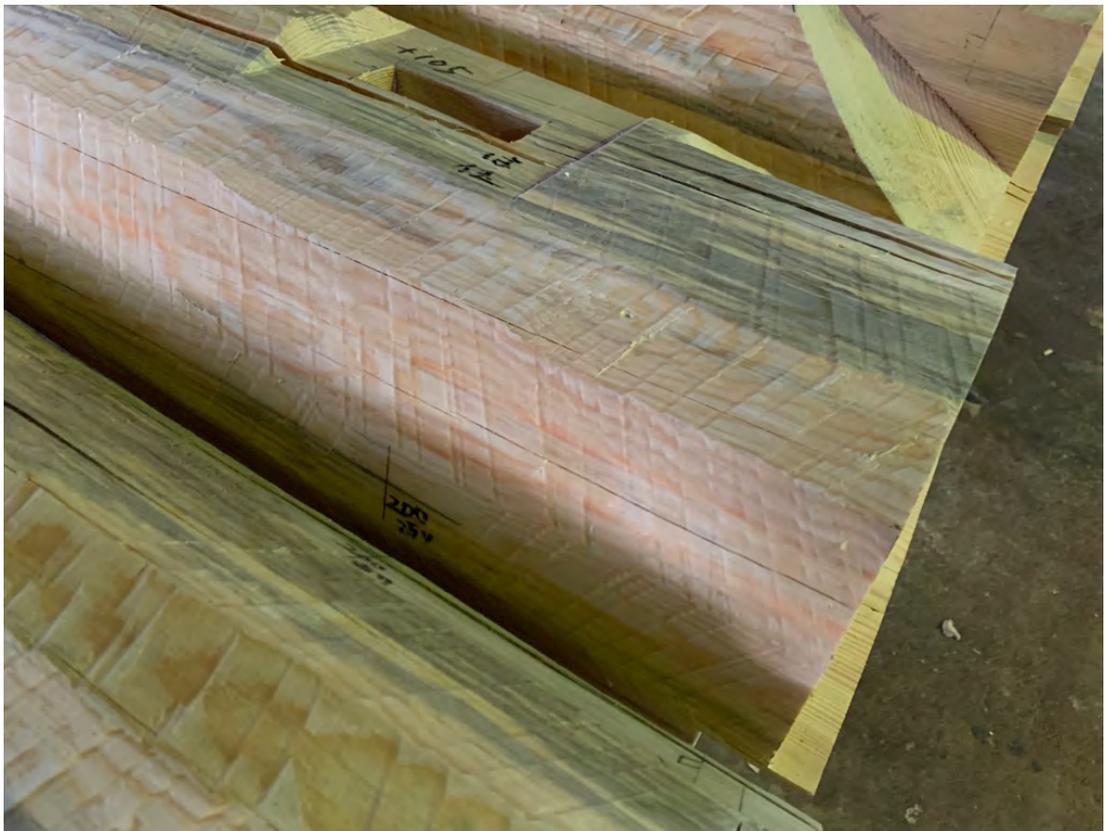


墨付け、加工を始めた木材です。【写真上:小屋組材、写真下:垂木】





加工を始めた木材の仕上り(手斧)程度の確認を行いました。



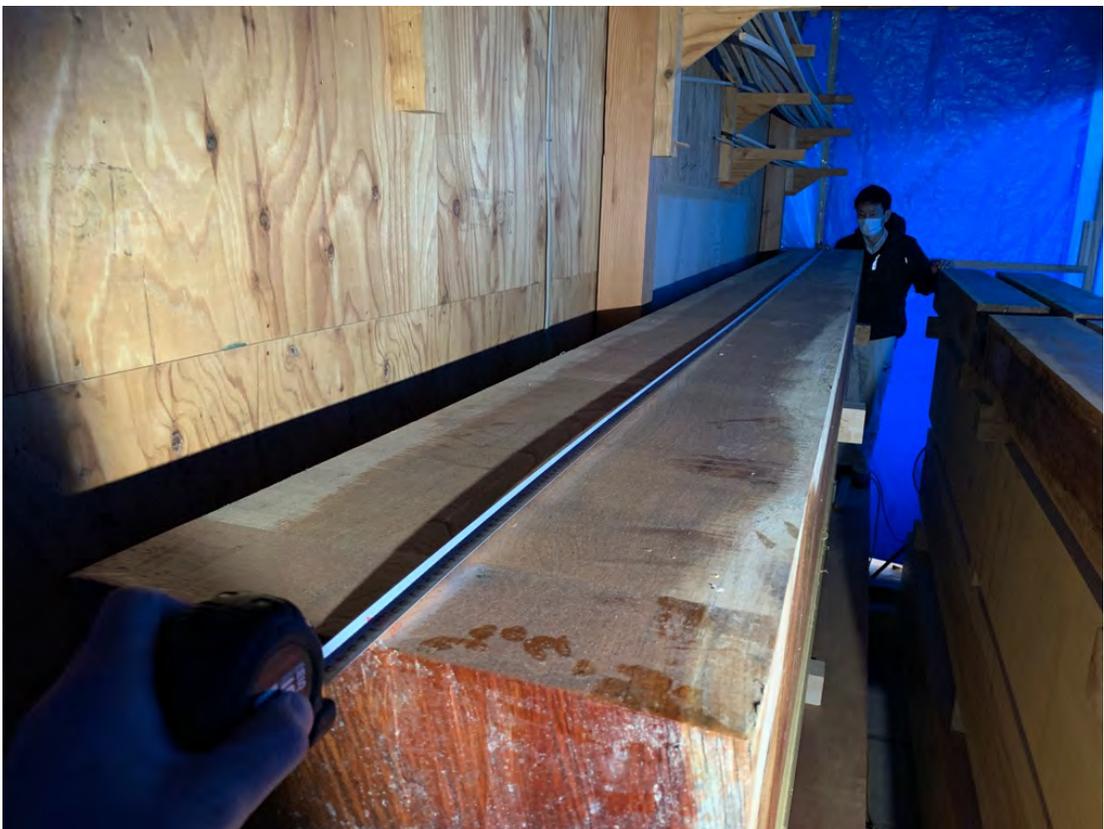


仕口加工状況の確認を行いました。





検査に合格した材料でも、乾燥期間中や加工を始めると割れや捻れが確認され、新たに取替材を確保する必要があります。自然素材を扱う難しい所です。



取替材についても材料の品位を確認し、含水率が高い材料については、室内に保管場所を確保し、乾燥を行っています。